

2015 年 12 月 17 日

関係各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

事業承継で友工商事への投資を決定 取引先と雇用の安定化を考慮

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン 2 号投資事業有限責任組合（NH-2）は 12 月 5 日、事業承継を目的に大阪の住宅設備機器、管工機材等の卸売会社である友工商事株式会社（本社 大阪市中央区、代表取締役社長 高杉行浩）への投資を決定しましたのでお知らせします。本件は、オーナー株主からの事業承継投資になります。

投資決定の理由については、業界の再編が加速する中で安定した経営を続けている事業会社の後継者問題の受け皿となって、一層の経営の安定化を図り、取引先と雇いを継続して維持することが地域社会の発展に資すると判断したためです。また、過去に商材が類似する、株式会社日立ハウステックへの投資を実行し、成長に導いた経験を生かせるものと考えています。

早ければ 12 月 25 日にも NH-2 がオーナー一家より全発行済み株式を取得し、同日決済を完了する予定です。また、NHC が選任する新社長を就任させるとともに、社外取締役 1 名、並びに社外監査役 1 名を派遣する計画です。お取引様各位には、引き続きご愛顧を賜れば幸いです。また、従業員の方々の処遇にも変更はございません。

以上

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から2006年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉、武田産業、Shade3D社など、開示可能なエクイティー投資先だけで35社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編成長投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、牧野

電話 03-5532-8921